

※※ 2006年3月改訂  
(第2版、薬事法改正に伴う改訂)  
※ 2000年4月改訂

日本標準商品分類番号	872615
承認番号	(61AM)1965
薬価収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1982年8月

### <貯 法>

遮光した気密容器、火気を避けて室温保存。

### 【禁 忌】

(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜〔刺激作用を有する。〕

### 【組成・性状】

#### 1. 組 成

本剤は15℃でエタノール(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>O:46.07)76.9~81.4vol%を含む(比重による)。

#### 2. 性 状

本剤は無色澄明の液である。水と混和する。  
点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。  
揮発性である。

#### 【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、  
医療機器の消毒

#### 【用法・用量】

本剤をそのまま消毒部位に塗布する。

#### 【使用上の注意】

##### 1. 副 作 用

	類 度 不 明
過敏症 <sup>※</sup>	発 疹 等
皮 膚 <sup>※</sup>	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合  
には使用を中止すること。

# 外皮用殺菌消毒剤 日本薬局方 消毒用エタノール

(消毒用エタノール「三恵」)

Ethanol for Disinfection

10ℓ

製造番号

使用期限

第4類アルコール類  
水溶性 危険等級Ⅱ

**火気厳禁**

※※ 製造販売元

株式会社 三恵薬品

愛知県豊橋市入船町21番地

## 2. 適用上の注意

### 1) 人 体

- 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。
- 眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
- 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

### 2) その他

本剤は血清、胆汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落してから使用すること。

### ※ 3. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

#### 【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において、栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

#### 【取扱上の注意】

- 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
- 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるのでそのような器具は長時間浸漬しないこと。
- 引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用なども含む)にはじゅうぶん注意すること。

